

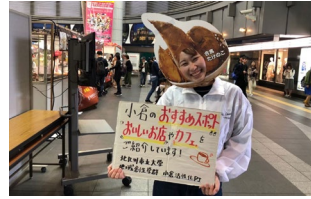
R.T . 2022年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

大学生時代は、地域活動に熱中した日々を送っていました。ほとんどの週末はどこかへ行き、何かしらの地域活動をしていたほどです。

1年～3年の時は、実習で小倉活性化プロジェクトに所属し「まちなかコンシェルジュ」として北九州の名産の被り物を被り、小倉へ観光に来た方へのおもてなし(道案内、お店紹介など)をしていました。当時はこの活動が大好きでウキウキで被り物をしていました。おかげ様で自分自身の小倉への認知度が上がり今でも大好きな街です。また、実習のgreenbirdでは小倉チームと北九州チームのリーダーとして毎週の小倉でのゴミ拾い以外に、様々な地域団体、企業とのコラボ活動をしてきました。北九州モノレールさんとのコラボでは3カ月に1度モノレール沿線にてコラボごみ拾いを行い、その継続的な活動への表彰をいただき、1年度に北九大と北九州モノレールさんが連携協定を結ぶことになり、協定式にて今までの活動報告と活動時のモノレール代が無償になる定期券をいただきました。こくらハロウィンでは小倉北区役所とコラボし、仮装パレードやステージでのPRタイムに参加し、ハロウィンイベント後のゴミ拾いでは仮装をした約70名の方と小倉の街中をゴミ拾い、その年のこくらハロウィンの仮装の表彰で企業賞をいただきました。

実習以外の地域活動にも取り組み、NPO法人好きっちゃ北九州では、北九州の子ども達と住んでいる地区の紙芝居を作り、他の地区の子ども達に向けて発表する企画のボランティアをしたり、まちづくりに興味がある大学生が宮崎県西米良村を舞台に2泊3日のワークショップをする活動をしたり、採用系の会社へ長期インターンをしたり、地元のまちづくり会社でインターンで移住窓口や県内企業の魅力発信など、大学の授業も受けつつ、本当に様々な地域活動をし、充実した日々でした。



小倉活性化プロジェクトにて、北九州の名産の被り物を被り、小倉駅で観光客へ案内をする「まちなかコンシェルジュ」をしている写真です。様々な人に小倉の案内をしました。



同じ小倉実習にてgreenbirdに所属し、毎週小倉をゴミ拾いしていました。北九州モノレールさんと3カ月に1度コラボごみ拾いを行い、継続的な活動への表彰をいただいた時の写真です。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

私は大学時代の地域活動を通して、「郷土愛による地方創生」の仕事がしたいと思い、22年新卒で(株)ローカルに入社しました。(株)ローカルは、「全従業員・生産者とともに、無限の可能性を追求し、地方から日本を元気にする。」をミッション(使命)に、地域の産品を販売するネット通販の事業と、全国の自治体を対象にしたふるさと納税運営代行事業をしています。私はふるさと納税の運営代行事業の地方創生事業本部に所属しており、ふるさと納税のコンサルタントとして自治体のふるさと納税の寄附額向上、ふるさと納税の出品に向けたサポートをしてきました。業務としては、担当の自治体を持ち、ふるさと納税の打ち合わせや、寄附額向上に向けた施策を考えたり、掲載サイトの管理、返礼品を提供してくださる地域の事業者(お店、農家、メーカーなど)の出品に向けたサポート、新商品の開発や販促など様々な業務をしてきました。今は同部署の営業企画に所属し、契約自治体のシティープロモーションや地場産業復興業務をしています。これからも地域の無限の可能性を追求し、イノベーションを起こしていきたいです。

また、greenbirdの活動も卒業後続けており、会社で赴任した岡山、熊本で活動を続け、2025年4月に地元の山口県下関市に新たにgreenbirdのチームを立ち上げリーダーをしています。



会社では年に1回、全国の社員が集まる決起集会をしており、決起集会にてそれぞれ担当自治体の特産品を被った写真です。



greenbird下関チームの唐戸でのゴミ拾いの写真です。

現役生へのメッセージ

私は大学時代の地域活動の経験や様々な地域の大人との出会いがあったからこそ、地域により目を向けるようになり、仕事や今も続けているgreenbirdに繋がっています。また、大学時代に自分が地域を好きになり郷土愛が育まれた経験も全国の自治体とのお仕事に活かされています。地域創生学群での学生生活では、自分の地域への向き合い方を学び、社会人になった時に地域に恩返し出来る大人になれるよう、頑張ってください。

(2025年11月26日執筆)